

特集

「写真で見る 2025 夏休み自然体験キャンプ」

全国各地から全 11 コースに延べ約 240 人の子どもたちが参加してくれました。全国的に暑かった今年の夏ですが、日陰や朝夕には信州らしい心地よい風が吹き抜け、晴れの日も雨の日も子どもたちは全身で自然を満喫することができました。楽しかったことも大変だったこともすべてが成長の糧になったはず。その活動の様子をご紹介します。

信州安曇野 八 坂



クズの花はとっても甘い匂いがしたよ



デイキャンプでは火つけにも挑戦！



水は冷たかったけど気持ちよかったあ



おやつのスイカは格別でした

● やさか幼児低学年班



仲間たちと行ってきます！



テント泊では何を話していたのかな？



焚火で焼きマシュマロ、美味しかったあ



栈橋から木崎湖にダイブ！



自分の使うお箸は竹を削って作りました



鷹狩山(1,164m)の山頂で



ホームステイではおやしき作りもしました



たくさん採れたブルーベリーはジャムにしました



リヤカーに荷物を積んでいざ原始の森へ出発！



初日は信濃大町駅から
センターまで歩きました



釣れた魚は自分で捌いて唐揚げにしました



湖水浴は最高に気持ちよかったね



古民家の囲炉裏を囲んで地元の母さんと



まん丸のナスが採れたよ！



最終日にはそれぞれ思い出を語り合いました



電気ガス水道のない
3日間のサバイバルキャンプ



センターの愛犬「テル」とも仲良しになったね



デイキャンプではドラム缶で
ピザを焼きました



夏の定番スイカ割り。
上手に当たったかな？



お土産のジャガイモもたくさん収穫できました

信州南信濃高原 売 木

● 南信濃高原山村生活班



布団の敷き方も初日に習います。これも体験の一つ



地図を持って村内探検に出発。
何が見つかったかな？



南信濃は清流の宝庫。
とにかく水遊びがとっても楽しい



テントも協力して設営できたね



大岡地区に到着。センターまで頑張って歩きました



食事の配膳は班毎の当番制で行いました



聖山の山頂には 360 度の
大パノラマが広がっていたよ



キャンプの朝ごはんはねじりパンを焼きました



1泊2日の高原キャンプ。協力と助け合いが必要だったね



ダイナミックなラフティングも楽しかったあ



長期班は生活作りも大切。
洗濯も自分たちで



和太鼓体験ではお別れ会で見事に発表出来ました



ヨットは艀装（組み立て）から覚えなくてはなりません



風を受けて走るヨットの
爽快感はたまりません



カヌー・カヤックでは
湖面を観察しながら進みました



ステップアップして一人乗りに挑戦した子も！

微笑みの国 タイ

● 日タイ青少年国際交流プログラム



タイ・バンコクの有名なお寺も訪れました



今回は水力発電に挑戦



アユタヤではゾウの世話のお手伝い



昆虫食にも挑戦しました

活動後のアンケートから



● やさか幼児低学年班

▼お迎えにいった瞬間に「ママ、あっちで待ってて。まだ終わってない」とはつきり言って、行きは重たくて体が荷物に持っていていかれていましたが、帰りはしっかりと自分で背負って立っている姿を見て感動しました。

● やさかやまびこ班

▼団体の所有施設内での宿泊という点に大変安心感があります。他団体ですとどうしても商業的な子供の楽しみ優先になってしまうところがありますが、育てる会は馴を交えながら貴重な体験ができるところに魅力を感じています。

● やさか山村生活班

▼小刀で竹を削るとき力の入れ具合が難しいこと、「お米を炊く」ことが簡単ではないことなど、YouTubeなどの動画で観てるだけではわからないことを、実体験を

通して理解することができてよかったです。

● やさかチャレンジ班

▼帰って来た時の話し方、行動に落ち着きを感じました。いつも何だかんだと頼る親がそばにいないことは、自分もつ本来の心の強さや素直さ、一人で動く意思、そういったものが研ぎ澄まされるのではないかと感じます。

▼野外炊飯時に、火おこしの具合でカレーのでき方が変わっても、そのまま経験として見守って下さる様子に、大変感謝しています。

● サバイバル班

▼食事づくりが楽しかったようです。残り一本のマッチで火がついた時が、一番活躍できた瞬間だったと嬉しそうでした。

● 南信濃高原山村生活班

▼子どもだけの集団生活、適切に必要な厳しき、動画などの娯楽なしで生活する事の楽しさに目覚めた様子です。水の美味しさに感動し、食事も美味しかったそうです。

● アルプスの里聖高原班

▼異年齢層からなる初対面同士の共同生活を通じ、助け合いや社会性を身につける良い機会であったと思いますし、パソコンやゲームに浸っている日々からの半ば強制的な脱却は、精神的な安寧のためにも有意義であったと思います。

▼日常生活ではない環境で、たくましくなつたと思います。カレー作りで三時間も苦勞して、ちゃんとできるか不安になりながらご飯を炊いて、それがすごく美味しかったと思う経験はなかなかできないと思います。

● アルプスの里聖高原長期班

▼多世代でのグループ生活を通して、親からでは得る事の出来ない価値観や自主的な活動ができた事はとても財産になったと思います。時にうまくいかない事もあったと思いますが、その時にネガティブになりすぎずにどう対応するか、不慮の場面で臨機応変に行動できるかを経験から自分で学んでいく重要性を改めて感じました。

● 日タイ青少年交流プログラム

▼言葉が通じないことにすごい抵抗があつたけど、言葉が必ずしも必要ではないということに気づいた。他に大事なことがあり、恐れることはないと感じた。



ご飯、かきたま汁、冷しゃぶ、白和えポテトサラダ、鉄火味噌、浅漬け、バナナ



※写真は活動中の食事（一例）です

ご飯、水菜とゴボウの味噌汁、シウマイ、和えそうめん、昆布豆、ハムサラダ、きのこソテー、オレンジ、乳酸菌飲料



ご飯、小松菜とミョウガの味噌汁、鶏肉の卵とじ、チーズ揚げ、もやしとニラのおひたし、すいか